



本町だより

横浜市立本町小学校 令和8年 5月 29日 発行 第639号

ほんちよう うんどうかい
「本町の運動会」

きょうむしゅにん やぎした ゆうさく
教務主任 柳下 勇作

いよいよ明日、今年度最初の大きなイベント「ふれあい本町大運動会」が開催されます。

新しい学年が始まって約2ヶ月ですが、限られた時間の中で子ども達は、一人一人一生懸命に練習をし、そして互いに高め合ってきました。はじめは演技の動きを覚えることに必死だった子どもも、動きが体に染みついてきて、自信をもって表情豊かに踊れるようになってきました。わずかな期間の中でも、子ども達の大きい成長を感じ取れます。

今週は、いろいろな学年が他の学年と演技を見合う時間を設けていました。誰かに見せるというのは緊張するものです。しかし、本番前にこうした機会はとても刺激になります。発表が終わった後、上級生下級生問わず、相手の学年に感想を伝えていました。中には、具体的なアドバイスをしている子もいました。また、職員室に戻ってきた先生達から「これまでで一番良い演技だった」「すごくよくなった」という声も聞こえてきました。

私はこのような子ども達のやり取りや、先生同士の会話を見聞きして、とても嬉しくなりました。なぜなら、運動会という一つの行事を成功させようと、学校全体で一致団結しているのを感じるからです。運動会は、学校生活の中の一部かもしれません。また、中には運動会が苦手という子もいるかもしれません。ただ、運動会という行事を通して、子ども達の気持ちが高まっていることは、紛れもない事実です。そして、その中心にいるのは6年生。6年生が、実行委員や応援団、様々な係活動でいつも一生懸命な姿を見せてくれているのです。そうした6年生の姿を見て、下級生も知らず知らずのうちに気持ちを高めかけているのです。まさに、子ども達がつくる運動会です。明日は、子ども達一人一人が真剣に取り組み、輝く姿をぜひ見てほしいと思います。

最後にもう一つ、お伝えします。教育奨励会とPTAの方々が、明日の運動会で来校者の方の誘導にあたってください。先日、奨励会会長とPTA会長のお二人がこんなお話をされていました。「行事は子ども達が一番です。子ども達が気持ちよく行事に取り組めるように、我々は誘導します。」そのように思って学校を支えてくださっていることを、本当にありがたく感じました。

子ども達が前向きな思いをもち、工夫をこらしながらつくる運動会、そしてそれを支える子ども達の頑張りを喜び合える保護者・教職員ら大人達。明日の運動会をきっかけに、本町小学校がもっともっと素敵な学校になることを願っています。